成果の説明書

(氏名) 阿久津　由佳	(学部) 経済学部

1　重要事項

(1) 英語カリキュラムの円滑な実施のための対応

英語部会長および英語部会メンバーおよびとして、カリキュラムの作成、修正や、英語必修クラスや TOEIC 試験等に関する課題の対応、解決など、英語教育の適正な実施のために尽力した。

① 英語部会長業務

英語部会長として、13 回の英語部会を開催した。また、英語カリキュラム関係の問題や連携について関係部署との対応及び連絡調整の役割を担った。

② 必修科目についての指針、内容など詳細の決定及び説明

同一科目・レベル内での同質な授業の質の確保をめざして、内容やルールについて検討後、それを文書化し、非常勤講師の先生方に zoom 会議および対面で詳細に説明を行った。

③ 多読プログラム（Xreading）の管理と遂行

Extensive Reading Program の手段として利用している Xreading の運用担当者の一人として、課題や内容等詳細を検討後、教員および学生に対しての資料の改訂および説明等を行った。また、実施の結果や問題点について、全担当教員にクラスごとにアンケートを実施し（188 クラス分)、調査とその分析、まとめを行った。

④ 科目レベル別英語担当者会議の開催

授業の振り返りと 2026 年度の授業に向けての説明のため、後期終了後にレベルコーディネーターを務める科目について、個別の担当者会議を zoom にて各レベル担当者向けに 2 回開催した。各科目に関する内容や課題、来年度の変更点や注意点などについて説明した。

⑤ コースリーダー・レベルコーディネーター業務の遂行

Business English III/IV のコースリーダー兼 advanced level のレベルコーディネーター、Business English I/II（Pre-Intermediate）と General English III/IV(Upper Intermediate)のレベルコーディネーターとして、カリキュラムに関して非常勤講師の先生方に個別に内容等の説明を実施し質問に対応した。

⑥ TOEIC 試験関係の業務の遂行

TOEIC 実施に関して非常勤講師の先生方への説明や依頼、連絡調整を行った。また、来年度以降の TOEIC 実施に関して情報集と分析を行い関係部署への説明等を行うとともに、予定されている会議に向けて準備を進めた。

(2) 教育

2025 年度も、1、2 年生の Business English の必修科目 3 種類と選択科目一種類を担当した。授業の改善に向けての取り組みを継続的に行っている。学生の自主性を高めることと、科目としてではなくスキルとしての英語の必要性を感じさせるため、テキストだけでなく様々なメディアを利用して授業を行う工夫をしている。また、TOEIC 等の外部試験を利用して英語学習の意欲を高め、社会に出てから役に立つ英語指導を意識している。

授業外で、希望者を対象に個別の英語学習相談や留学相談を実施し、各自のレベルや適性、目標に合わせた学習、留学計画作成のアドバイス等を行うことも継続している。

(3) 研究

継続研究としては、語用論的要素をどのように学校英語教育に取り入れるかにつ

いての研究を進めている。また、AI の利用が一般的になる世界で、どのように英語学習を利用すべきかについての知見を求めて、海外学会(4th Global Conference on Innovations in Education)に参加した。

2　その他の事項

① 英語部会長と部会内の担当業務

英語部会長として、関係部署の会議に参加した。

②経済学会理事

経済学会理事として会議に参加し論集作成業務等に携わった。

3　次年度以降の計画・抱負

英語部会長業務は終了したものの、次年度は英語カリキュラムや今後の学内 TOEIC の実施の検討についてなど、英語部会担当者として学内の業務にかなりの時間を割く必要があると思われる。研究とのバランスをできるだけ保ちながら、より良い英語教育を提供できるように尽力していきたい。